

白河取材1日目

福島を
つなぐ
2016



「じらかわん」「ぎんにゃん」とともに記念撮影を行った。



たくさんさんの温かいご支援に心から感謝申し上げます
ふくしまからはじめよう。
Future From Fukushima

福島県の現状に触れる

大堀相馬焼を制作する生徒、先生



▲白河市での放射線除染活動に関する話を聞いた。

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

12月17日・18日に本校新聞部員4名が「ふくしまからはじめよう。キビタン交流促進支援事業」の一環として福島県白河市に訪れ、福島県立白河高校の生徒6名と交流や取材を行った。

本校新聞部員の白木輝君(2-13)、杉本陸君(1-1)、三田村啓佑君(1-1)、西山綾乃さん(1-3)が「ふくしまからはじめよう。大使」として福島県白河市を訪れた。現地では福島県立白河高校の生徒6名と白河市公認キャラクター「じらかわん」、本校公式マスコットキャラクター「ぎんにゃん」も参加し、交流会を開くなどして友好を深めた。また交流1日目には「福島県の復興に関する報告会」と題され、福島県の復興活動に関わられている3部署4名の方々の活動内容を聞きインタビューを行ったほか、「いかりや商店」で福島県浪江町の名産である大堀相馬焼の制作を体験

1日目 スケジュール

時間	スケジュール
12:00	JR白河駅到着
12:15	「田楽食堂」で昼食
13:00	記念品の贈呈
13:30	『ふくしまの復興に関する報告会』
16:00	大堀相馬焼体験
18:30	交流会
21:00	ホテルサンルート白河宿泊

した。今回訪れた白河市で取材、体験した内容は彦根東高校新聞3月号で掲載する予定だ。
交流や取材に参加した本校新聞部員からは「福島県の文化や放射線の現状について色々学ぶことができた。夕方の食事や踏まえた交流会も楽しかった」「復興に関する状況がよくわかり、また交流で白河市の高校生が前向きに震災について考えていると感じた」とそれぞれ感想を挙げた。